

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(8年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和8年4月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 256名 (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 231名 ・就職率 41.3%	利用者数 72名 支援対象者数 13名 就職者数 19名 就職率 7.7% (参考)前年同月実績 ・利用者数 142名 ・支援対象者数 19名 ・就職者数 16名 ・就職率 5.3%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

女性：30代 ・希望職種：清掃・倉庫内作業

① 求職者の課題

・同居していた母親が亡くなったが債務があったことが発覚。また猫の多頭飼育で大家や近隣住民との問題が発生し転居が必要な状態となるなど生活に困窮、動物保護団体から生活困窮支援へ繋がったケース。

② 紹介の経過

・これまで同居していた母親と妹の3人がそれぞれパートのダブルワークをしながら家計を維持していた。そのため母親が得ていた収入分を穴埋めすべく増収を図る必要があったが、逆にシフトが減るなど収入が減ってしまった。事業所に離職を申し出たところ、シフトを増やし働きやすい環境も作るからと強く慰留されたがその後一向に改善されず。そんなことから、本人も正社員として就職し安定した収入を得る必要性は理解しているものの、いざとなると現状変化を嫌うなど優柔不断な性格がそれを阻んでいた。そのため目的を非正規から正規雇用への転換と明確化することで、それがブレないよう関係機関と対応を一本化した。

③ 結果

・紹介就職 正社員 病院の清掃業務

④ 職業相談員の所感

・母親が亡くなったことで、これまでそれぞれが担っていた分担割合が崩れ、家計の維持だけではなく、色々なバランスが崩れていった。姉妹共々に正社員として働いた経験がなく、職場環境が合わなければ辞めて他を探せばいい、という考えが定着していた。将来の生活設計より現状維持を選び、多頭飼育の経費もかさみ、次第に生活困窮も深刻化すると、姉妹の関係にも徐々に亀裂が生じるようになっていった。結果的には母親の債務がきっかけとなり、非正規から正規雇用へ移行し、安定した収入の目処が立ち、自立への一歩を踏み出すことが出来た事例となった。

⑤ 本人のコメント

・「正社員での就職は色々な意味でハードルが高かったが、面接時にその思いを伝えたくて採用して貰えたので安心した。」